

3 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、着用者ご本人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

⚠ 警告

- **お子様が触れないようご注意ください。**

飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようお願いします。

- **スムーズホン用のマグネットは乳幼児の手の届かないところに保管してください。**

マグネットを誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、マグネットを錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。

- **フィッティングを行う専門家の方への警告:** この補聴器は132dB SPL以上の出力があります。フィッティングの際には充分注意してください。

⚠ 注意

- **衝撃・熱を避けてください。**

補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。

- **補聴器はいつも清潔にしておいてください。**

就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。

- **適切な音量でご使用ください。**

必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。

- **補聴器はお使いになる方のかきこえ具合に合うように調整する必要があります。**

この補聴器は、販売店でお使いになる方のかきこえ具合に合わせて調整してもらってから装着してください。

- **補聴器を装着しても良く聞き取れない音もあります。**

小さすぎる音、遠くの音や周囲の雑音が大きい環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づくか、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

- **ハウリング(ピーピー音)にご注意ください。**

耳せんがきちんと収まっていない場合や、抜かけて隙間ができた場合などには特にハウリングが起こりやすく、着用者に不快感を与えるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることとなります。ご自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきいてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。

4 電池使用上の注意

⚠ 警告

- ショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。

- **電池を誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、電池を錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。**

- 電池内部の液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、ただちに医師へご相談ください。

⚠ 注意

- +、-を逆向きに入れないでください。
- 必ず指定されたタイプの電池を使用してください。

5 故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
音がきこえない／音の大きさが不十分	電源が入っていない。	電池ケースを閉じる。
	電池が消耗している。	電池を新しい物に交換する。
	音の出口が詰まっている。	音の出口を掃除して詰まりをとる。
	チューブが詰まっている。	チューブを新しい物と交換する／掃除する。
	耳せんとチューブが正しく装着されていない。	注意して装着し直す。
ハウリング(ピーピー音)がする	装着者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	医師に相談する。
	設定音量が小さい。	可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。
	チューブがゆるんでいる。	チューブを交換する。
音が不明瞭、音が歪む	耳せんとチューブが正しく耳に入っていない。	注意して入れ直す。
	補聴器の設定が合っていない。	販売店に相談する。
	耳せんの大きさが外耳道に対して合っていない。	販売店に相談する。
	装着者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	医師に相談する。
音が不明瞭、音が歪む	電池が切れかかっている。	電池を新しい物に交換する。
	プログラムの設定が合っていない。	販売店に相談する。

※ 対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

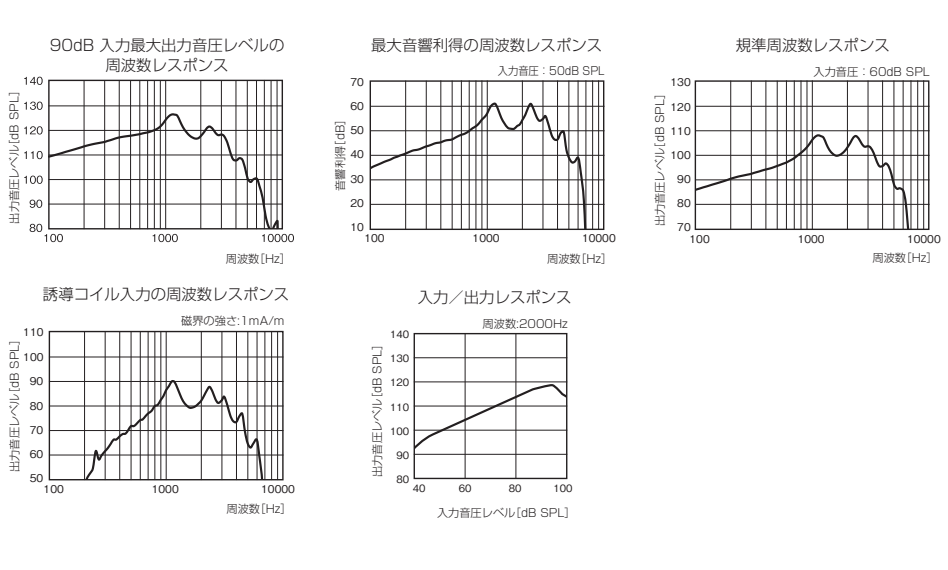
6 性能表 2cmカブラ 測定規格：JIS C 5512：2015

性能表		表示単位	70タイプ	80タイプ
90dB入力最大出力音圧レベル	HFA-OSPL90	±4dB SPL	121	129
	ピーク	+3dB SPL以下	128	136
最大音響利得	HFA-FOG	±5dB	56	62
	ピーク	+3dB以下	61	67
等価入力雑音レベル		+3dB SPL以下	25	23
全高調波ひずみ	500Hz	+3%以下	1.2	1.5
	800Hz	+3%以下	1.1	0.3
	1600Hz	+3%以下	0.5	0.5
電池の電流		+20mA以下	1.3	1.5
電池サイズ(1.4V)			PR48	PR48
電池寿命		時間	200	175
規準周波数レスポンス	周波数範囲	Hz	100 - 6200	100 - 6120
	規準利得(RTG)	dB	44	53
試験用ループに対する等価感度		±4dB SPL	-1	1
誘導コイル入力の最大感度レベル	HFA-MASL	±6dB SPL	84	93
定常状態入出力特性(2000Hz)	50dB入力	±5dB SPL	100	110
	90dB入力	(70dBで正規化)	118	129
最大感度となる方向			垂直	垂直
使用目的、又は効果			身体に装着して、聴聴者が音を増幅して聞くことを可能とすること。ただし、気導式のものに限る。	
使用時の環境条件			温度:0～40℃、湿度:40℃/93%以下、気圧:500～1100hpa	
電撃保護			内部電源機器 B形装着	
輸送保管条件			温度:-20～60℃、湿度:90%RH以下(結露なきこと)、気圧:500～1100hpa	

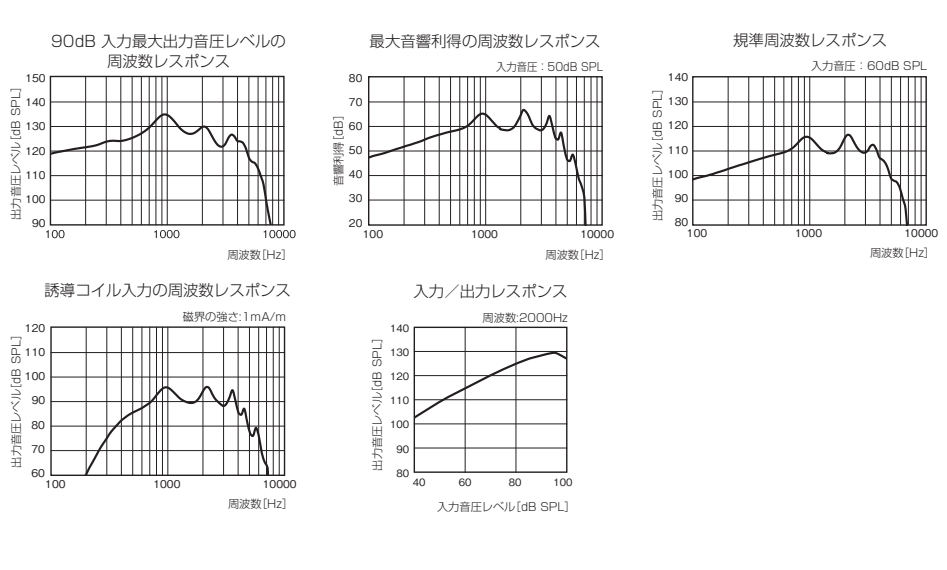
※ 数値は参考値です。

7 音響諸特性 2cmカブラ 測定規格：JIS C 5512：2015

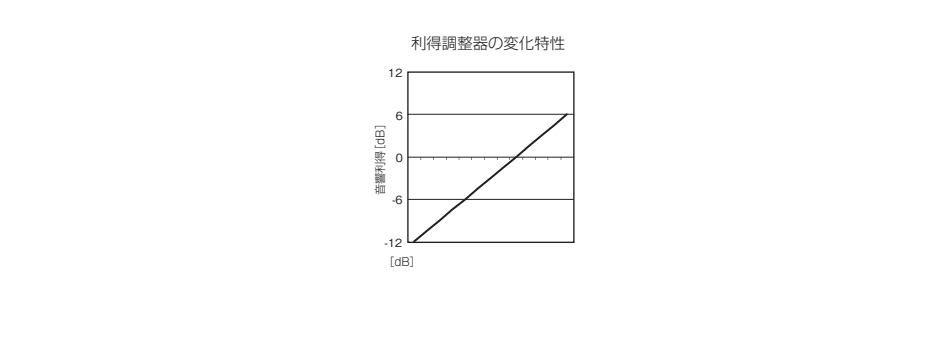
70タイプ



80タイプ



70タイプ、80タイプ



8 アフターサービス

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。保証適用時には、保証書が必要となります。

■ 修理について

・ **保証期間中**
保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。保証書の提示がない場合は有料となります。

・ **保証期間後**
お買い求めの販売店にご相談ください。修理により使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

※ 仕様について

改良のため仕様、付属品は予告なく変更される場合があります。

※ ©2018 GNヒアリングジャパン(株) 無断複写転載禁止。

耳かけ型補聴器 簡単ガイド

取扱説明書

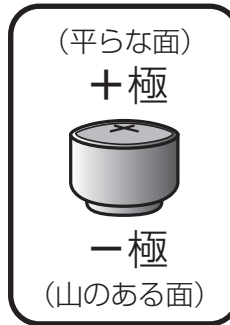
製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 ☎ 0120-921-310
一般のお客様電話番号 ☎ 0120-921-102
FAX番号 ☎ 0120-636-392
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MMパークビル8F

ReSound GN

KTG0671 02 1807B-180710K

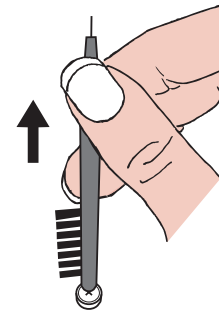
電池の入れ方・出し方

①



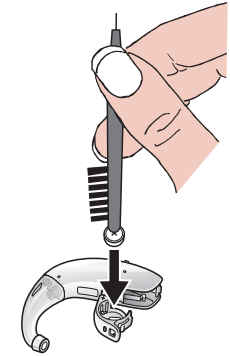
電池のテープをはがして、1分程度経過してからご使用ください。

②



耳あか掃除ブラシ先端の磁石に+マークのついている面をつけ、そっと持ち上げてください。

③

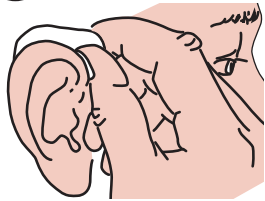


補聴器の電池ケースにまっすぐ入れてください。耳あか掃除ブラシを横にスライドさせ、電池から引き離してください。

補聴器の着け方・外し方

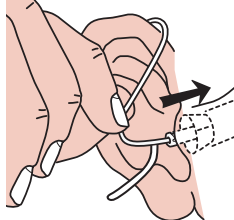
耳せんの場合

①



電源を入れ、補聴器を耳の上にかけます。

②



耳せんを耳の中に、しっかり入れてください。

ミニチューブご使用の場合



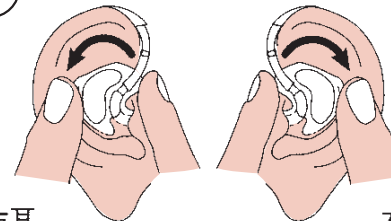
スポーツロックを耳たぶ上側のくぼんだところに這わせてください。

外し方 親指と人差し指でチューブをつまみ、真横に引き出してください。

イヤモールドの場合

①

前から後ろへ回す

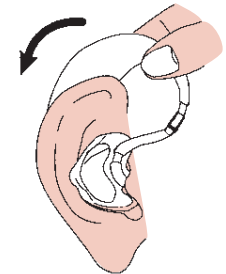


右耳

左耳

イヤモールドを指先で軽く持ち、矢印の方向へ回しながら、ゆっくりと耳の中へ押し込んでいきます。

②



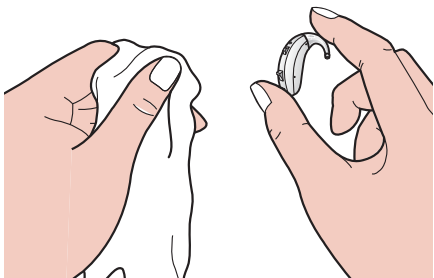
補聴器を耳の後ろに乗せま

外し方 補聴器を着ける時とは反対の方向に回しながら引き出し、補聴器とイヤモールドをつないでいるチューブをつまみ、静かに耳から外してください。

日ごろのお手入れ

① 毎日のお手入れ

ご使用後は、付属の耳あか掃除ブラシで耳あかを取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。耳せん・イヤモールドの掃除は、耳あかが補聴器本体に入りこまないように音の出口を下にして行ってください。

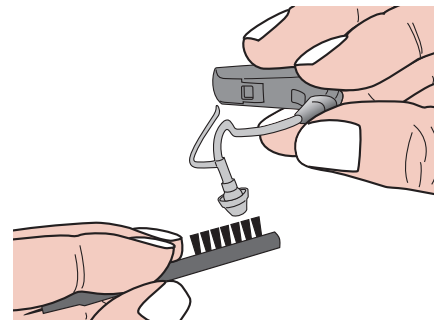


② 耳せんの交換

耳せんは3ヶ月に1度程度は交換が必要です。耳せんはお買い上げの販売店で交換されることをお勧めいたします。

③ チューブと耳せんまたはイヤモールドの掃除

耳あか掃除ブラシややわらかい布を使って、汚れや耳あかを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



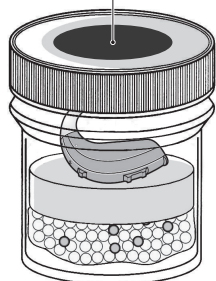
※ チューブ内に水滴が残る危険があるため、洗わないでください。水滴が残ってしまうと音声の伝わりが妨げられたり、補聴器の電子部品に悪影響を与える可能性があります。

※ 絶対にご自分でイヤモールドの形を変えないでください。

補聴器の保管について

補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いため、装用後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。※電池を乾燥ケース内に入れると、電池寿命が極端に短くなる可能性があります。

電池置き場

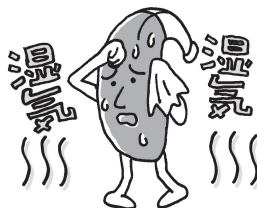


注意・禁止事項

● 熱を避ける



● 湿気を避ける



注意

- (1) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら新しいものと交換してください。
- (2) 乱暴な扱いは補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けてください。
- (3) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。